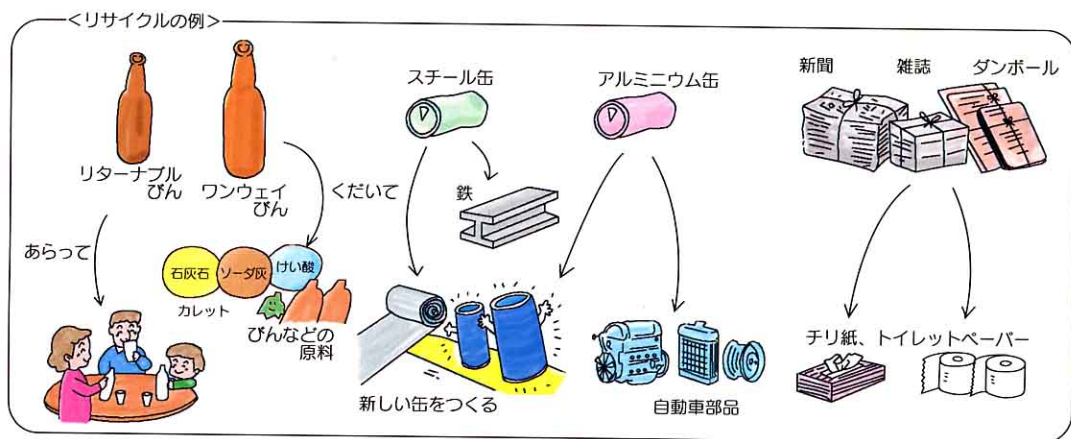


よし子さんたちは、ごみリサイクルについて清そうセンターのおじさんに聞いてみました。

「ジュースの空き缶や缶づめなどの缶類、ガラスでできたびん類、古新聞や古くなった衣類をいっしょにまぜてしまえば“ごみ”だけど、きちんと分ければ、大切な“資源”としてまた使えるんだよ。」



スクラップにされたアルミ缶



役場のおじさん

これからは、ごみをへらすためにも、ごみの分け方をきちんとしてほしいんだ。また、生ごみなどはできるかぎり家でしまっしてほしいんだ。今、県では、1人が1日に出すごみの量を80gへらす運動をしているよ。

(平成10年度は、1人1日460g出しています。)